

中学生の古典学習観に関する一考察

—平成 21 年実施のアンケート調査結果を手がかりとして—

坂 東 智 子

(兵庫教育大学大学院・院生)

はじめに

本稿の目的は、平成 21 年 1 月から 2 月に論者が徳島県内の 4 つの中学校で実施した「古文学習に関するアンケート」調査（1,342 名対象）の結果分析を行うことにより、中学生の古典学習観を探り、中学校における古典学習指導の現状と課題の一面を明らかにすることである。

1. 7 割以上の高校生に好まれていない「古典」の授業

平成 14 年 11 月 12 日に国立教育政策研究所教育課程研究センターが実施した「平成 14 年度教育課程実施状況調査（高等学校）」¹（以下本稿では「課程状況調査（高校）」とする）において、「古文は好きだ（そう思う）」「どちらかといえばそう思う」と回答した高校生は全体の 20.7%であった。これは「国語の勉強が好きだ（そう思う）」「どちらかといえばそう思う」の 45.2%を大きく下回り、「漢文は好きだ（そう思う）」「どちらかといえばそう思う」の 25.5%をさらに 4.8%下回る結果であった。

鳴島甫（2007）は「古典（古文、漢文）」と「数学」「物理」「英語」の調査結果を比較し「『数学』や『物理』を一割も超えて、『古典』が最も嫌われている教科となっている」²と分析している。

さらに、国語 I の学習内容 15 項目について 6 つの質問のうち「内容はよく分からなかった」「内容は役に立つとは思わなかった」という 2 つの質問では、回答の上位 3 項目が「文語文法を理解すること」「古典と現代文の文章を読み比べること」「漢文の訓読の仕方を理解すること」といういずれも「古典」の学習内容であった³。

この結果から推察すると、高校生が「古典」を好まない主な理由は「内容がよく分からない」うえに「ふだんの生活に役立つとは思われない」ことであると考えられる。

2. 中学校における「古文学習に関するアンケート」調査結果

（1）調査概要

「平成 15 年度教育課程実施状況調査（小学校・中学校）」⁴（以下本稿では「課程状況調査（小中）」とする）では「古典」領域に特定した調査は行われていない。そのため論者は徳島県内の 4 つの公立中学校の 1,342 名（1 年 465 名、2 年 478 名、3 年 399 名）を対象としたアンケート調査を平成 21 年 1 月から 2 月にかけて実施した。（調査に用いたアンケート用紙は注 5 の通りである。）

（2）6 割以上の中学生に好まれていない「古典」の授業

論者が実施した調査のうち「あなたは古典（たとえば竹取物語や故事成語や論語など）の授業は好きですか。」という質問において「そう思う」と回答したのは中学 1 年生が 12%、2 年生 6.9%、3 年生は 13.2%であった。2 年生の 6.9%は、「課程状況調査（高校）」の「古文は好きだ（そう思う）」の 7.2%をさらに下回る数字であった。（論者の行った調査結果は資料 1 に示した）

一方、国語の勉強全体は中学生にそれほど嫌われているわけではない。「課程状況調査（小中）」と論者の行った調査結果を比較したものが資料 2 である。

資料1 (質問) 「あなたは古典の授業は好きですか。」の結果

学年	回答	そう思う		どちらかとい えばそう思う		どちらともいえ ない		どちらかといえ ばそう思わない		そう思わない		全体 人数
		人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%	人数	割合%	
1年	古典	56	12.0	119	25.5	130	27.9	91	19.5	69	14.8	465
2年	古典	33	6.9	87	18.2	130	27.1	133	27.8	95	19.8	478
3年	古典	53	13.2	100	25.0	105	26.3	58	14.5	83	20.8	399

資料2 「課程状況調査(小中)」と論者の調査結果の比較

学年	課程状況調査(好き・やや好き)	%	論者の調査(好き・やや好き)	%
第1学年	国語の勉強が好きだ	50.8	古典の授業が好きだ	37.5
第2学年	国語の勉強が好きだ	46.0	古典の授業が好きだ	25.1
第3学年	国語の勉強が好きだ	50.4	古典の授業が好きだ	38.2

資料2を見ると、中学1年と3年では「古典の授業が好きだ」「どちらかといえばそう思う」と回答した比率は「国語の勉強が好きだ」「どちらかといえばそう思う」より約1割低い。これに対して、中学2年は「国語の勉強」と「古典の授業」の「そう思う(好き)」「どちらかといえばそう思う」の差が2割以上となっている。中学2年は「国語の勉強」全体に問題があるのではなく、「古典の授業」に課題があることが分かる。

(3) 中学生が「古典」の授業を嫌う理由の分析

論者が行った調査で「古典の授業が好きですか。」という問いに「そう思わない(嫌い)」と回答した学習者の理由(自由記述)を、内容という観点で7項目に分類し集計した結果が資料3である。

資料3 「古典の授業」を嫌う理由(自由記述)の分類結果

順位	中学1年		中学2年		中学3年	
	理由	%	理由	%	理由	%
1	意味がわかりにくい。読みにくい。	38.0	意味がわかりにくい。読みにくい。	42.9	意味がわかりにくい。読みにくい。	33.3
2	難しい。	17.7	その他	19.0	その他	20.2
3	おもしろくない。楽しくない	16.5	難しい。	11.4	難しい。	17.9
4	めんどくさい。	12.7	空欄	10.4	おもしろくない。楽しくない	11.9
5	その他	8.7	おもしろくない。楽しくない	9.5	空欄	9.5
6	空欄	6.3	めんどくさい。	3.8	めんどくさい。	4.8
7	嫌い。	—	嫌い。	2.9	嫌い。	2.4

「古典の授業」を嫌う理由として3学年ともに群を抜いて多いのが「意味がわかりにくい。読みにくい。」である。学年の特徴を記述からみると、1年では授業に「おもしろさや楽しさ」を求める傾向がある。2年になると「おもしろさや楽しさ」よりは授業内容が理解できるかどうか、難しく感じるかどうかが授業の好き嫌いを判断する要因となっている。3年では「授業内容が難しい」ために授業が「好きになれない、嫌いである。」と記述した学習者が2年よりさらに増加している。

資料3で「意味がわかりにくい。読みにくい。」に分類した理由をさらに小分類した結果が資料4である。中学1年で目立つのは「歴史的仮名遣いのわかりにくさ、読みにくさ」に言及した記述である。これは中2、中3では半減する。これに対して中3では「言葉がわかりにくい」が25.0%と3学年の中で最も多くなる。古典教材の文章量が増え古典特有の言葉や表現が多くなることからこのような結果が出たと考えられる。

2年の理由では「日常生活では使わないから」「昔のことを知っても意味がないから」「習っても

意味ない」「ねむたくなる」「ねむいから」「読む気にならない」「興味がない」「全く興味をそそられないから」という記述がみられる。これらの記述は1年ではみられない。2年は特に古典学習への意欲低下が顕著になる時期だといえよう。

資料4 「意味がわかりにくい。読みにくい。」の小分類一覧

理由の分類	中学1年%	中学2年%	中学3年%
(小分類1) 歴史的仮名遣いがわかりにくい	7名 23.3%	3名 6.7%	3名 10.7%
(小分類2) 意味や内容がわかりにくい	14名 46.6%	17名 37.8%	12名 42.9%
(小分類3) 言葉がわかりにくい	3名 10.0%	5名 11.1%	7名 25.0%
(小分類4) 理由の記述がない	6名 20.0%	20名 44.4%	6名 21.4%

(4) 中学生が「古典」の授業を好きな理由の分析

「古典の授業が好きですか。」に対して「そう思う」と回答した学習者の理由（自由記述）を「どのようなことを面白い、楽しいと感じるか」という観点から7項目に分類した結果が資料5である。

資料5 「古典の授業」を好きな理由（自由記述）の分類結果（人数）と割合%

	1. 面白い。楽しい。	2. 昔のことを知るの面白い。	3. 古典の内容が面白い。	4. 今と違うところが面白い。新鮮だ。	5. 難しいけれど、分かると面白い。	6. その他	7. 空欄	総数
中1	(8) 14.2	(11) 19.6	(9) 16.1	(12) 21.4	(5) 8.9	(6) 10.7	(5) 8.9	(56) 100.0
中2	(6) 18.2	(6) 18.2	(3) 9.1	(3) 9.1	(2) 6.1	(7) 21.2	(6) 18.2	(33) 100.0
中3	(9) 17.0	(21) 39.6	(4) 7.5	(4) 7.5	(3) 5.7	(9) 17.0	(3) 5.7	(53) 100.0

比率の高い理由を学年ごとにみていきたい。1年では分類4の「今と違うところが面白い。新鮮だ。」の21.4%が最も高い。これは2年3年の2倍以上である。次いで分類2, 3の順である。1年の古典教材が『竹取物語』『故事成語』であり、分類3「古典の内容が面白い。」の中には「昔の物語はおちがあっておもしろいから」「笑える故事成語が多いから」「昔の話は想像の中の世界の話だから、どんどんいろんな想像ができてとても楽しい。」といった理由（自由記述）もある。

1年の分類4, 5, 6の自由記述の一覧が資料6である。

資料6 中学1年「古典の授業」が「好き」と答えた理由（自由記述）分類4/5/6の一覧

No	分類	下位分類	自由記述の理由
29	4	40	ふるきをたずねてあたらしきを知るという言葉のように新しい発見ができるから。
30	4	40	自分の知らない世界と交われるから。
31	4	40	新しい発見があって、楽しいから。
32	4	40	古典は昔の物語や、知らなかったことがわかっておもしろいから。
33	4	40	自分が知らない言いまわしや、故事成語の故事などが分かって楽しいから。
34	4	41	ふつうの物語とちがって、おもしろいから。
35	4	41	今とは違った感じの情景が想像できるから。
36	4	41	今とは少し価値感が違うところがあるから。何かを訳したり、意味を自分なりに考えたりするのが好きだから。
37	4	41	物語が知っているのと違うかったりしておもしろいから。
38	4	41	ふだんとはちがう言葉を使うから。
39	4	41	おなじ日本語なのに、言い方がちがうのはおもしろいし、推理するみたいでおもしろい。

40	4	41	今とは意味がちがったり、使いようがかわってたりしてとてもおもしろい。
41	5	50	若い人達は、あまり、興味をもたないけど、昔の本などは、すごく、難しいけど、楽しいから。
42	5	50	歴史的かなづかいなどを覚えたり、古典を読めるようになったら楽しいから。
43	5	50	暗号解読みたいでおもしろい。
44	5	50	覚えるのも楽しいし、書いている意味がわかっていくのがおもしろいから。
45	5	50	読むのが楽しい、理解するのがおもしろい。
46	6	60	昔、使われていた言葉などにふれて理解できたときに、昔の人もこんなかんじだったのかなと思うことができるから。
47	6	63	古い時代に生きた人々の感じたことや、昔の知恵が分かるから。今と照らし合わせることができるから。
48	6	64	その時代にあった考えや文化が分かるから。
49	6	65	歴史が好きだし、生きていく上で役に立ちそうなことがたくさん学べるから。
50	6	65	歴史的なことも学べるから。
51	6	67	和訳するのが面白いから。

資料6のNo.29, 30, 31のように「古典の授業」で新しい発見があったり自分の知らない世界と交わることに魅力や新鮮さを感じているのは1年生が最も多い。これが2年3年で半減することは見逃すことができない課題である。

6「その他」に分類した理由の中にはNo.46の古典世界への共感を感じているもの、47の古典の世界から現代を照射して認識したもの、48の時代と文化を関連させて理解出来ているものといった、認識力に培う古典の授業の可能性を示唆するものも見られる。

2年では分類6「その他」の21.2%と最も高く、好きな理由の個別化の傾向が強くなっている。資料7は2年の分類2, 6の自由記述の一覧である。

資料7 中学2年「古典の授業」が「好き」と答えた理由（自由記述）分類2/6の一覧

No	分類	下位分類	自由記述の理由
7	2	21	昔の人が考えていたこと等が分かっておもしろい。
8	2	21	日本の昔の習慣や、考え方を知り、日本のよさを感じられるから。
9	2	21	昔の人たちが考えたことなどがよく分かるから。
10	2	21	昔の人の考えや状況がすこしわかるから。
11	2	22	当時の生活やじょうけいなど学べるから。
12	2	23	日本の昔の言葉（読み・書き）については、興味があるし、楽しいと感じるから。
21	6	60	昔の日本の文学はおもしろいから。昔があって今の文学につながっているから。
22	6	60	昔の人が思ったことと、今の自分が重なるときがあるから。
23	6	60	故事成語が特に好きです。現代の言葉と過去の出来事のつながりがわかった時はもっと知りたくなります。
24	6	61	時代をさかのぼる感じがしてたのしいから。
25	6	66	現代文の問題より簡単だから。
26	6	68	幼いころによく聞かせてもらっていた昔話をそのまま読めるようになるから。
27	6	68	小さい頃から、公文式などで古典に触れていて興味があったので、自分でもよく読んでいるから。

資料7で網掛けをした理由は、中学2年生の特徴が顕著であると判断されるものである。中学2年の古典教材が『平家物語』『枕草子』『徒然草』であることとの関連が見える。古典教材を媒介として「昔の習慣」や「日本のよさ」「時代状況」などの理解が行われている。また、No.21, 22, 23は古典と現在の繋がりを実感しての記述である。24の「時代をさかのぼる感じ」も古典の世界に入り込んでいる学習者の姿を彷彿とさせる。先にも見たように、中学2年生は「古典嫌い」が顕著になる学年であるが、教材と学習者をじかに触れ合わせるためのテキストや学習活動の工夫により、教材の持つ魅力や価値を学習者に発見させ、学習者自身のものとする可能性は十分にあると考えられる。

3年では分類2の「昔のことを知るのが面白い。」が40.4%と最も高く、1年2年のおよそ2倍と

なっている。3年の分類2，6の自由記述一覧を資料8に示した。

資料8 中学3年「古典の授業」が「好き」と答えた理由（自由記述）分類2/6の一覧

No	分類	下位分類	自由記述の理由
10	2	20	昔の事が知るのがおもしろいから。
11	2	20	昔の人たちのことを知るのが楽しいから。
12	2	20	昔のことに興味があるから。
13	2	21	昔の人の考え方とか、おもしろいから！！
14	2	21	昔の人の考えを知るのが楽しい。
15	2	21	昔の人の考え方を知ることができるし、古典を音読するのが好き。
16	2	21	古人の考え方や、その当時の生活環境を知ることができるから。
17	2	21	昔の人の考えがよく分かるから。
18	2	22	古典を読むと、昔の人の生活がどのようなものかわかるため。
19	2	23	昔の言葉を知れたり昔の人の感情や昔の風景がわかってとても楽しいので好き。
20	2	23	日本の昔の言葉や文化が知れるから。
21	2	24	言葉の比喩の使い方が好きだから。
22	2	24	昔の言葉はとても繊細で気持ちを上手く文にしているから。
23	2	25	昔の人の書いた物に興味があるから。
24	2	25	昔の話や孔子などの人々の教えをすることができるから。昔の人たちが好んでいた作品や有名な作品を知ることができる。
25	2	25	昔のいろいろな作品が読めるから。
26	2	26	昔の人の思いや行動を感じとれるから。
27	2	26	昔の人の感じ方、とらえ方が分かるから。
28	2	26	昔の人の思いを知ることができるから。
29	2	26	昔の人の教訓が知れるから。
30	2	27	昔の文化に触れることができるから。
42	6	60	昔の人の気持ちを知ることができ、より身近に感じることができるから。
43	6	60	物語が好きだから、今も昔も、考えていることが同じだったり、共感できることがあるので、とてもおもしろいから。
44	6	60	昔の事がわかったときや、今と変わらない事だったり、教えなどを読んだとき、なるほどと思わせてくれるから。
45	6	60	現代の社会にも通じる話だから。物語そのものが面白いから。
46	6	64	歴史が好きだし、歴史のこともわかるから。
47	6	66	自国の文化をするのは、日本人としてとても大切なことだと思って、古典の学習は楽しいから。
48	6	66	先生の説明がわかりやすく、おもしろいから。
49	6	68	小さいときから知っているかぐや姫の原作の竹取物語について学べたり、昔の人の考えを知ることができるから。
50	6	69	昔の文学に親しめることはすごいことだから。

3年は分類2の記述に「生活環境」「文化」「感情」「風景」といった語句が多く見られるようになる。また、「言葉」や「表現」に面白さを感じる学習者も多くなる。これは和歌や『奥の細道』といった教材との関係も考えられる記述である。3年生は教材の特性や価値を学習者が自分のものとし、「言葉」の背後にあってそれを生み出したものに関心を持ち理解することが可能になる学年である。

おわりに

本稿では、徳島県内の4つの中学校で論者が実施した「古文学習に関するアンケート」調査(1,342

名対象)の「古典の授業」を好きな理由、嫌いな理由の結果分析を中心に考察を行った。

中学1年と3年では4割近い「古典」好きが存在する。これに対して中2は好きが2割5分まで落ち込み「国語の勉強」と「古典の授業」の「好き」「どちらかといえばそう思う」の差が2割を超える。

「古典の授業」を「嫌う」理由の各学年の特徴は、1年では「歴史的仮名遣いの読みの難しさ」、2年は「古典学習への関心・意欲の低下」、3年は「言葉(古語)の難しさ」であった。

中学生が「古典の授業」を「好き」な理由は学年ごとに特徴のある結果が出ている。1年は「今と違うところ」に面白さや新鮮さを感じる学習者が最も多く、2年は「好き」な理由の個別化が進む一方で、「古典と現在の繋がり」を実感する記述も見られた。3年では「生活環境」「文化」「感情」「風景」といった語句が多く見られるようになり、「言葉」や「表現」に面白さを感じる学習者も増える。言語抵抗をどう生かし克服するかが3年生の課題として見えてきた。

今回は紙幅の関係から割愛した「古典の授業」を「やや好き」と答えた学習者の理由記述分析は稿を改めて報告したいと考えている。

— 注 —

- 1 平成14年11月12日に国立教育政策研究所が実施した調査である。結果については以下のHPによった。(http://www.nier.go.jp/kaihatsu/katei_h14/index.htm)「平成14年度教育課程実施状況調査(高等学校)ペーパーテスト調査集計結果及び質問紙調査集計結果」(国立教育政策研究所教育課程研究センター), 2004.
- 2 鳴島甫「古典教育再考—七割もの生徒に嫌われている古典教育からの脱却—」『日本語学』2007年2月号, 明治書院, pp. 7-8, 2007.
- 3 1に同じ, pp. 98-130.
- 4 平成16年1月から2月に国立教育政策研究所が実施した調査である。結果は以下のHPによった。(http://www.nier.go.jp/kaihatsu/katei_h15/index.htm)「平成15年度教育課程実施状況調査(小学校・中学校)質問紙調査集計結果—国語—」(国立教育政策研究所教育課程研究センター, p. 1, 2006.
- 5 調査に用いたアンケート用紙は以下の通りである。

古文学習に関するアンケート

1. あなたは古典(たとえば竹取物語や故事成語や論語など)の授業は好きですか。好き 5-4-3-2-1 嫌い
(その理由)
2. あなたは授業以外で古典作品(現代文に訳されたものやまんがも含む)を読んだことがありますか。よく読む 5-4-3-2-1 全く読まない
3. 何のために古典を勉強すると思いますか。(何でも考えたことを自由に書いてください。)
4. 好きな古典作品、読んでみたい古典を教えてください。(いくつでもかまいません。)
(作品名)

(その理由)
5. あなたの暗唱している古典を教えてください。(最初だけ、一部分だけでもかまいません。)
6. 古典作品についてインターネットや関連する書物で調べたり、古典作品を阿波井(方言)に書き直す、物語や随筆を詩や俳句などに書きかえるなどの授業が行われています。このような授業に興味がありますか。興味がある 5-4-3-2-1 興味がない
7. こんな古典の授業があれば楽しいなと思うことを自由に書いてください。

*アンケートは、調査の目的以外には使用しません。ご協力ありがとうございました。